

# 名古屋フィルハーモニー交響楽団

## < 第 472 回定期演奏会 >

### 曲目・ソリスト変更のお知らせ

名古屋フィルハーモニー交響楽団が10月11,12日に開催する<第472回定期演奏会>へ出演を予定しておりましたソプラノ：サラ・ウェゲナー氏は、健康上の理由から来日が不可能となりました。

指揮者・作曲家ハインツ・ホリガー氏との相談の結果、「代わりの歌手を見付けることは極めて難しい」との判断となり、大変残念ながら、ホリガー《デンマーリヒト（薄明）－ソプラノと大管弦楽のための5つの俳句》の演奏を断念いたします。

代わりに、オーボエ：ハインツ・ホリガー氏、イングリッシュホルン：マリー＝リーゼ・シュプバッハ氏の二重奏（オーケストラ無し）で、細川俊夫《結び－ハインツ・ホリガーの80歳の誕生日を祝して－（オーボエとイングリッシュホルンのための）》、さらにオーケストラの演奏でドビュッシー《牧神の午後への前奏曲》の2曲を演奏いたします。

#### ▼名フィル 第472回定期演奏会 〈最大の傑作〉

[日時] 2019年10月11日（金）6:45pm / 12日（土）4:00pm

[会場] 愛知県芸術劇場コンサートホール

[出演] ハインツ・ホリガー（指揮・オーボエ\*）（**変更**）

マリー＝リーゼ・シュプバッハ（イングリッシュホルン）\*（**変更**）

[曲目] 武満徹：夢窓

細川俊夫：結び－ハインツ・ホリガーの80歳の誕生日を祝して－

（オーボエとイングリッシュホルンのための）\*（**変更**）

ドビュッシー：牧神の午後への前奏曲（**変更**）

シューベルト：交響曲第8番ハ長調 D.944『グレート』

#### ▼マリー＝リーゼ・シュプバッハ

オーボエをマルセル・サイエとアンドレ・ラウルに師事。独フライブルクにてハインツ・ホリガーに師事、音楽院を卒業。ケルン放送響にてオーケストラでのキャリアを始める。1979年にソロ・コーラングレ奏者としてミュンヘンのバイエルン放送響に入団。ベルリン・フィルやウィーン・フィルにも客演奏者として招かれ、ルツェルン祝祭管のメンバーとしても活躍。2008年にはバイエルン放送響の仲間と共に、室内楽フェスティバル”erstKlassik am Sarnersee”を創設、著名な演奏家たちと魅力あふれるコンサートを披露している。ホリガーは作品を献呈するほどシュプバッハに信頼を寄せており、2017年の来日公演でも共演を果たした。

本件に関する  
お問い合わせ

公益財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団 担当：演奏事業部 小出篤  
Tel. 052-322-2774 Fax. 052-322-3066 Mail. koidea@nagoya-phil.or.jp  
〒460-0022 名古屋市中区金山1-4-10 名古屋音楽プラザ4F